

知的財産を積極的に活用した経営に取り組む

「横浜知財みらい企業 15社」を新たに認定します



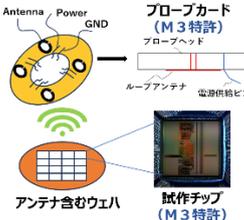
(公財) 横浜企業経営支援財団 (以下「IDEC 横浜」) および横浜市は、独自技術やノウハウ等の「知的財産」をいかした経営に取り組み、優れた製品やサービスを作り出す中小企業を認定し、その成長・発展を後押しする「横浜知財みらい企業支援事業」を実施しています。

令和8年4月1日付で「横浜知財みらい企業」として、新規企業15社を認定します。

これにより、既に認定されている135社を含め、**認定企業総数は150社**になります。

【新規認定企業のご紹介】

(50音順)

	企業名	取組内容	製品・ロゴ等	各社ウェブページへのリンク
1	アントム株式会社 (都筑区)	「小型×微風×遠赤外線」をコア技術とし、大型炉と同等の温度再現性を小型装置で実現することで、開発・評価・高信頼用途における加熱品質の高度化に貢献しています。		
2	株式会社 インプラント イノベーションズ (鶴見区)	ゲノム編集・形質転換・遺伝子解析・植物組織培養から温室・隔離圃場栽培までのフルサービスを提供する、植物に特化した研究受託会社です。バイオ技術を用いて、植物の機能を最大限に引き出し、アグリビジネス分野での新しい可能性を広げることを目指しています。		
3	MKコンサル ティング株式会社 (中区)	医療機器メーカー向けに、薬事コンサルティングを軸とした開発支援を提供。ISO 13485や医療機器製造販売業許可の取得コンサルティングにも対応し、規制対応から知的財産戦略の構築まで一貫して支援します。消化器内視鏡処置具の分野で特に実績が多いです。医療現場のニーズを直接聴き取り、製品化に結びつけるプロセスを得意とし、クライアントの事業成長を力強く後押しします。		
4	株式会社M3 (神奈川区)	非接触検査方式と半導体端子・実装構造の幾何設計を組み合わせた独自技術を開発するディープテック企業です。非接触型の半導体評価と、端子形状・配置・共振構造の最適化により、材料開発に依存せず放射効率低減および電磁結合制御を実現しています。		

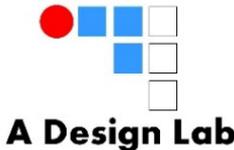
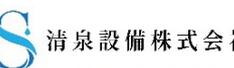
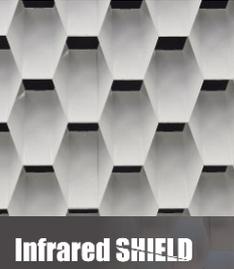
裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



5	A Design Lab 株式会社 (中区)	半導体用テストソケットをはじめ、各種検査、製造用治具開発、製作で、国内外の半導体事業に貢献しています。特に高周波特性や微細加工が必要な設計を得意とし、プローブピンを始め、コンタクト周りから部品単体や基板、回路などの提案、開発、生産を受託しています。各種シミュレーションも手掛けており、製造、開発の課題に幅広く対応します。	 A Design Lab	
6	株式会社KT (鶴見区)	不動産流通革命を志すDX企業です。QRコードで対面環境でも即時契約が可能な電子契約「Mina Sign」は、不動産・建設業に加え、行政、金融機関、信用保証協会における社会インフラ型DX基盤として稼働中です。日米韓などで展開中のチャットシステム「Mina Talk」は、LINEと連携し、BtoC/toBのコミュニケーションを案件ごとに一元化し、働き方改革を後押しする次世代プラットフォームです。	 MINASIGN MINATALK	
7	恒林日本株式会社 (緑区)	各種電池及び電池システムの研究開発・製造・販売を中心に、電池材料や関連設備、ソフトウェアまで幅広く展開しています。韓国・中国メーカーとの連携を通じ、xEVや蓄電分野で最適な技術ソリューションを提供しています。	 Eaglewood 恒林	
8	清泉設備株式会社 (西区)	浄水器カートリッジの製造・販売を行っています。自社企画・開発と徹底した品質管理により、純正品と同等の性能を持つ互換カートリッジを安価に提供できるのが強みです。ECサイトに特化した販売戦略で広範な市場にアプローチし、2024年11月にはAmazonで販売数No.1を達成しました。	 清泉設備株式会社	
9	テーダブリュ電気株式会社 (都筑区)	車載向け純正装着用スピーカーの開発・製造を行っています。顧客要求に対応する高性能・高品質スピーカーを国内及び海外の自動車メーカーに納入しています。		
10	株式会社テラスン (青葉区)	AIと技術計算に基礎を置くシステム開発と、その工業および農業分野への適用を目指しています。また、新規事業分野として浮体式洋上風力発電用プラットフォームの提案と、甘草を原料とする植物工場向けの新製品の開発に挑戦しています。	 TERASUN 幸せを創る	
11	日栄鋼材株式会社 (青葉区)	遮るのは、熱 繋ぐのは、命と未来の安心。 「アルミハニカムパネル」は赤外線を反射し、輻射熱を抑えるという発想から生まれた、水も電気も使用しない赤外線シールドです。温度を下げるのではなく、表面温度を下げる効果を発揮し、省エネルギーと快適空間・温度環境を創出します。	 Infrared SHIELD	

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



12	株式会社 MURONE (鶴見区)	長年培ったノウハウによる鋳物高精度加工を軸に製造技術サービスを一貫して伴走します。 自社開発ブランド muroppArts は現場の困りごとからデザインされたブランドで、自主開発品とSDGs製品の開発を行っています。		
13	株式会社 ルシェノン (都筑区)	ネイリストの技術を可視化する特許評価システム「OCAT™」を開発。 ネイル施術の基礎であるワンカラー技術を工程ごとに評価し、技術を数値化・可視化することで教育・人材評価・技術向上に活用しています。		
14	LOOVIC 株式会社 (港北区)	経験者が、現場で発する肉声を空間に宿し共有する『土着性音声』技術により、同じ空間に経験者がいるようでない感覚のもと、短期記憶に配慮し自分のペースで判断・実行できる空間タスク支援を実現。作業空間向け『TASK+al (タスカル)』と外出空間向け『LOOVIC ナビガイド』を開発・提供しています。		
15	株式会社 レジリエンスラボ (中区)	企業の防災・BCP(事業継続計画)をワンストップで支援し、災害に強い街づくりの実現を目指しています。各社のBCP策定支援、階層別研修、訓練、非常時の備蓄品などに加え、長期停電に備えた燃料・電源の備蓄シェアリング「BCP チャージ」の事業開発にも取り組んでいます。		

【参考】「横浜知財みらい企業」制度概要

1 制度概要

平成23年度から、独自技術やノウハウ等の「知的財産」をいかした経営に取り組み、優れた製品やサービスを作り出す中小企業を「横浜知財みらい企業」として認定し、その成長・発展を後押ししています。

2 認定企業への主な支援制度

IDEC 横浜ホームページで、「横浜知財みらい企業」認定企業の一覧・技術情報等を掲載してPRを行うほか、知的財産権の取得費用などを助成する「知的財産活動助成金」や横浜市中小企業制度融資における優遇があります。

IDEC 横浜

横浜知財みらい企業支援事業 URL : <https://www.idec.or.jp/business/csr/chizaimirai.html>



お問合せ先

(「横浜知財みらい企業」制度全体に関すること)

横浜市経済局ものづくり支援課長

大友 靖子

Tel 045-671-3839

(認定に関すること)

公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部長

久常 慎志

Tel 045-225-3733



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

